

インターネットをわれらに

第3回 万国の労働者はインターネットで団結せよ

労働組合離れに歯止めがかからない。理由は簡単である。今の労働組合には魅力がないからだ。しかし硬直した労働組合の組織や運営を超え、インターネットを武器に魅力ある労働運動を模索する人々がいる。



労働組合存亡の危機!?

今、日本では失業率が5パーセントを超え、リストラの嵐が吹き荒れ、外注化が進み、年金の減額や増税さえさやかれている。サラリーマンにとっては厳しい時代である。

こんな時こそ労働組合がその真価を発揮する……はずなのだが、労働組合の組織率は低下する一方だという。正社員中心の企業別労働組合を前提とする既存の労働組合では、現在のように多様化した就業形態に対応ができなくなってしまったからだとも言われるが、最大の理由は、要するに「労働運動がおもしろくない」ということだろう。

ピラミッド型の中央集権的な意思決定でしか物事が動かない、古くさい縦割りの労組では、末端の組合員は単なる駒に過ぎない。組合員がやることは、言われたとおりにデモにでかけて、言われたとおりのシュプレヒコールを叫び、ひたすら組合費を払うだけだと言ったら言い過ぎだろうか。



インターネット時代の労働運動の姿とは

だが、そんな労働運動の世界も、最近



この「ジャパユニオン」のように、国内にもインターネットで活動する労働組合が存在する

になって少しずつ変わり始めている。新しい労働運動のキーワードが、インターネットだ。特に個人加盟ができる一般労組や合同労組が、積極的にインターネットに取り組んでいる。

たとえば、主に若い労働者を中心とする「首都圏青年ユニオン」は、インターネットを積極的に使ってキャンペーンを展開し、成果を上げているという。若い人が中心の組合だけに、活動もサークルのノリだ。

またインターネットを通じた労働相談を行っている組合も多い。中でも「東京一般労組」は、早くからインターネットの可能性に着目してきた労働組合だ。インターネットを通じて労働相談を受け付ける「お助けねっと」や、東京一般労組の準組合員と同等の組合員資格を得られる「サイバユニオン」を運営している。

インターネットでの労働組合としては、「東京東部労組」という地域合同労組を母体とする「ジャパユニオン」というユニークなバーチャル労働組合がある。

ジャパユニオンは、「気軽に参加できる労働組合」を目指して立ち上げられたという。「労働組合」というと、普通の人には何となく敷居が高いものだが、ジャパユニオンはインターネットで加入の申し込みができ、組合費も安い。積極的に参加する



サイバユニオンは個人でも加入できる労働組合。また職場で労働組合を作りたい人への支援も行う



Text by 安田幸弘



「レイバーネット日本」には、世界中の労働運動の最新情報が集まっている

もよし、組合費を払って送られてくるメールマガジンを読むだけでもよし、である。

しかし争議ともなれば、パーチャルとはいえ、本格的な労働組合だ。相手がしぶとい場合は現地の労組を紹介してもらおうことになるそうだが、実際にジャパンユニオンとの間のメールや電話、郵便などで解決したケースもあるという⁴。



開かれたネットワークで 情報交換を

インターネットの労働運動と言えば、「レイバーネット日本」というグループがある⁵。「レイバーネット」は、90年代に米国で始まった労働関係の情報交換ネットワーク⁶。当時はパソコン通信のネットワークだったが、英国の労働活動家がインターネットを使った国際的なキャンペーン⁷を成功させ、インターネットの普及とともに、世界各国に労働運動のネットワークとしてのレイバーネットが誕生、現在では8か国⁸でレイバーネットという名前の情報交換ネットワークが稼働している。

レイバーネットは、労働組合のようなピラミッド型の中央集権的な組織ではなく、



レイバーフェスタ2002のもよう

URL <http://www.pmn-net.jp/laborfesta/>

レイバーフェスタは、韓国やサンフランシスコでの労働者によるフェスティバルに参加した人々によって「日本でもこんなお祭りを」と、2002年から始まったもの。2003年は11月8日(土)開催

開かれたネットワークだ。各国のレイバーネットは、単に名前と理念を共有するだけで、組織的なつながりは一切ない。また、レイバーネットはあくまでもネットワークでしかなく、それ自体で何かの主張をするということもない。資本のグローバリズムには、労働者のグローバリズムで対抗⁹するだけでも言えようか。

さまざまな立場から労働運動に取り組む人々が集まる中で、いくつかの新しい試みも誕生している。たとえば、11月に予定されている「レイバーフェスタ」は、組織の壁を超えて映像、音楽、パフォーマンスなどを持ち寄り、労働運動の意味を再確認しようというイベントだ。

政治的な主義主張で労働運動が盛り上がった時代は、すでに歴史の教科書の1ページだ。インターネットの時代の労働運動は、主義主張も、組織の枠組みも、国境さえも超えて、世界中の働く人すべてを結び付けようとしている。

次号、第4回「反グローバリゼーション」に続く

著者プロフィール

安田幸弘(やすだゆきひろ)

本業はテクニカルライター。また、非営利活動分野でのインターネット利用を支援するために、NGO/NPOへのボランティア・コンサルタントとしても活動中。パソコン通信、インターネット、Windows、Linux、MacOSなどに関する著書多数。Linux雑誌「Linux Magazine」、「Linux World」などに連載記事。著書「Zopeガイド(毎日コミュニケーションズ)」「Apacheアプリケーションサイト構築(オーム社)」「市民ネットワーク入門(岩波ブックレットNo.433)ほか多数。

筆者の近況

フリーランサーと言えは聞こえはいいが、中年フリーターの実態は日雇い職人みたいなものである。仕事にあぶればたちまち飯の食い上げという限りなく弱い立場の労働者だ。しかしほくは組合に入っていないかったりする。やっぱり「出版NETS」あたりに入ろうかなあと思う今日この頃なのです。

今月取り上げたNPO / NGO

首都圏青年ユニオン

URL <http://www.seinen-u.org/>

2001年、都区内連一般労働組合の青年支部として結成。参加方法:メール、電話などで問い合わせ
連絡先:〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館5F 公共一般労組内
e-mail: union@seinen-u.org
TEL: 03-5395-5359 / FAX: 03-5395-5139

サイバーユニオン

URL <http://www.cyber-union.or.jp/>

1997年、東京一般労働組合がインターネット上で労働相談、労働運動の情報を提供する「お助けねっと」を開発、1998年に「サイバーユニオン」を設立。
参加方法:ウェブのフォーム(<http://www.cyber-union.or.jp/mail1.htm>)からメールで申し込み
連絡先: 全国一般東京一般労働組合
東京都千代田区三崎町3-5-6 造船会館2階
TEL: 03-3263-2460 / FAX: 03-3263-9957

ジャパンユニオン

URL <http://www.jca.apc.org/j-union/>

1999年、東京東部労働組合を母体とし、日本初のインターネットの労働組合としてジャパンユニオンを結成。
参加方法:メールまたはFAXで申込用紙送付
連絡先:〒125-0062 東京都葛飾区青戸3-33-3
野々村ビル1階
TEL: 03-3604-1294 / FAX: 03-3690-1154
e-mail:j-union@jca.apc.org

レイバーネット日本

URL <http://www.labornetjp.org/>

イギリスのレイバーネットを主宰するクリス・ベイリー氏が2000年に来日した際に構築が呼び掛けられ、2001年に結成。
参加方法:ウェブフォーム
(http://www.labornetjp.org/join_form またはメールで申込用紙送付)
連絡先:〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-403
TEL: 03-3530-8590 / FAX: 03-3530-8578
e-mail: labor-staff@labornetjp.org

(脚注)

- *1 企業内組合ではなく、個人加盟ができる労働組合組織のこと。
- *2 居酒屋チェーンを経営するモンテローザとの間で残業代不払いなどに関して東京西部一般労働組合が追及、結局組合との間で和解が成立し、総額21億円にのぼる未払い残業代を払わせたという。首都圏青年ユニオンなどのメンバーによって、メールリストやウェブサイトなどを通し、不買運動や抗議の要請などが流された。
- *3 交渉権、ストライキ権、受結権を持つ労組法上の労働組合。
- *4 通信手段だけで解決できるのは、あくまでも特殊なケースで、ジャパンユニオンの場合も基本は直接交渉。
- *5 実質は筆者もシステム構築を手伝っているので手前味噌の紹介になってしまうかもしれないが、客観的に見てもかなりユニークな活動をしていると思う。
- *6 パソコン通信ネットワーク「IGC」のBBSとして、サンフランシスコの労働運動家のスティーブ・ゼルツァー氏などが「LaborNet」を開発。また米国最大の労組「AFL-CIO」も商用パソコン通信ネットワークのCompuServeに同名のフォーラムを開発していた。
- *7 ユリス・ベイリー氏が、英国リバープールの港湾労働者のストライキをインターネットで世界中に知らせ、世界各国の港湾労働者が連帯ストライキで会社側を追い詰めた。
- *8 アメリカ、イギリス、ドイツ、オーストリア、韓国、カナダ、オーストラリア、日本。
- *9 しばしば誤解されがちだが、いわゆる「反グローバリズム」は、必ずしもグローバリズムそのものを否定するものではない。むしろ、多国籍企業が一方的に果実を奪う現在のアンバランスなグローバリズムを是正し、公正な富の配分を目指すところなのだ。





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp